

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

母逝きて使うことなき診察券思い出多く捨て
 がたく居る 鈴木 節子
 鬼役の妻を遺らうて長寿をと唐豆数う如月三
 星 明
 猫バスに乗りたいたトロ口に逢いたいと夢みる
 平塚 冬晴
 我よいつの間ぞ古希 高橋 政男
 桃の木に凍れる滴陽を映し新芽の如し 春が
 またる 佐藤 育男
 現代っ子の名まえ従来の名はずたれ当て字さ
 まさど読めざる多し 阿部はぎの
 早ばやと目覚むる朝この寒さ寝床に座して新
 聞捲る 阿部はぎの
 老木の根元日溜まりひそやかに小さき黄のは
 な福寿草咲く 佐藤喜和子
 復興へとつなぐ開発被災地は日増しに変わり
 賑わい戻す 遠藤 松雄
 降りつけば冷たかろうと犬小屋をマッパ
 スにて雪閉いせり 遠藤 松雄
 口荒れてもの味わえぬくやしさにジイジイ音
 する病院へいく 佐久間香鶴

評 一首目、自然な流れで、実感がよく出て
 いる。一読、共感される方も多かろう。
 二首目、「遣らう」は追い払う、「唐豆」は
 南京豆のこと。楽しい豆まきの一行日記。
 三首目、「乗りたい」「逢いたい」が効い
 ている。親しまれた映画からのお作か、何よ
 り結句の感慨が魅力。

俳壇

山家 弘子 選

大壺に漲る水音返る
 白鳥の貴婦人めきて近づき来
 春日傘しらすき橋を渡り来る
 朝まだき小介子挽きたる紙衣かな
 山眠るりハビリ室の広き窓
 藤田伊都子
 高子うぶん
 星 明
 服部 忠孝
 平塚 冬晴

弥治郎の雛の宴や外は雪
 冴返りジャケツの上に又ジャケツ
 障子貼り明るき部屋に住住い
 用水の細き流れの草水柱 末吉アツ子
 寒空を一直線にヘリコプター 佐藤 啓子
 二句目、凛として神々しく、優雅な白鳥を
 貴婦人と見る、九十二歳の瑞々しい詩心に感
 じ入るばかり。
 三句目、紫外線は夏よりも、四月・五月が
 強いと聞いたことがある。それで、春になる
 と女性の日傘をさす人が多くなる。日傘をさ
 して白鷺橋を渡って来る女性と出逢った。息
 をのむほどの美しさに見惚れていたのではあ
 ろう。「しらすき橋」が詩情を醸し出している。

評 一句目、山から流れる水が、小さな滝
 のように落ちる所は深く窪んで、大きな壺の
 よう。そこから溢れる水音に、厳しい寒さが
 又ふり返したと聞く感性。
 二句目、凛として神々しく、優雅な白鳥を
 貴婦人と見る、九十二歳の瑞々しい詩心に感
 じ入るばかり。
 三句目、紫外線は夏よりも、四月・五月が
 強いと聞いたことがある。それで、春になる
 と女性の日傘をさす人が多くなる。日傘をさ
 して白鷺橋を渡って来る女性と出逢った。息
 をのむほどの美しさに見惚れていたのではあ
 ろう。「しらすき橋」が詩情を醸し出している。

柳壇

四電 英夫 選


無事に年越して主治医の笑みこぼれ
 四苦八苦増える獣に疲れ果て
 命とは命を食べて生きる事
 春一番くしゃみ鼻水連れて来た
 御無沙汰に冬眠中とメールする
 善悪を振り分けて聞く耳の穴
 風邪を引きあつたか腫に助けられ
 老いてなお庭に出たが癖があり
 暖冬などとも思えぬ庭の雪
 これからの教師問われる英語力
 大庭美智子
 村上 照夫
 安藤 聡
 星 明
 佐藤 啓子
 草野 清
 川口とも子
 高子うぶん
 遠藤 舞
 門脇 貞造

第8回会長杯争奪 白石市バドミントン春季大会

- 日時 4月16日(日)受付8:30～
 - 場所 スポーツセンター
 - 種目 一般ダブルス(男女混合、中学生は男子の部、小学生は女子の部)
※大会限定、男子1パート合計年齢が130歳以上で希望の場合は女子の部
 - 試合方法 予選はリーグ、決勝はトーナメント戦
 - 参加資格 市内・刈田地区に在住・勤務・在学する方、もしくは市内バドミントンクラブに所属する方
 - 参加費(1パート) 一般2,000円、中学・高校生1,000円、小学生500円
 - 申込期限 4月8日(土)まで
- ◎白石市バドミントン協会 日下
 ☎25-0262 ☎25-0264

白石市民歌 動画配信中!

QRコード対応の携帯電話・スマートフォンをお持ちの方は、右のバーコードをご利用ください。



第一児童館、第二児童館と放課後児童クラブの 運営事業者が決まりました

市では、「白石市児童館・放課後児童クラブの運営方針」に基づき、平成26年度から児童館、放課後児童クラブの運営を民間の事業者に委託しています。

これまでの委託事業者は、平成29年3月31日で3年間の委託期間が満了するため、あらためて市で設置した運営事業者選考委員会で選考を行った結果、引き続き3年間(平成29年4月～平成32年3月)「特定非営利活動法人 FOR YOU」に委託することになりました。なお、運営内容は、これまでと同様です。

■選考した運営事業者

- 法人名 特定非営利活動法人 FOR YOU にこの家
- 代表者名 理事長 小岩孝子
- 所在地 仙台市太白区四郎丸字明神16番地の2

●事業者概要

- ・平成7年 設立
- ・平成16年 NPO法人化
- ・平成17年 仙台市東四郎丸児童館を指定管理で運営
- ・平成26年 一般社団法人愛知揆一福祉振興会「平成25年度みやぎ社会貢献大賞」受賞
- ・平成27年 仙台市防災ボランティア賞受賞
- ・平成28年 日本福祉のまちづくり学会市民活動賞受賞

☎子ども家庭課 ☎22-1363



▲山田市長から指令書を受け取る小岩理事長(左)

山田市長の Big SMILE!

白石産ササニシキが学校給食に現る! ササニシキ復活プロジェクトが市内小中学校に無償提供



桃の節句の3月3日、市内小中学校の給食に、「食味日本一の『しろいし米』復活プロジェクト」の生産したササニシキ250kgが提供されました。この企画は、同プロジェクトが「地元の子どもたちにササニシキのおいしさを知ってもらいたい」という思いから実現。ササニシキとタケノコ・ニンジン・シイタケなどを混ぜ合わせた「ちらしごはん」として提供されました。

この日、白石第一小学校では同プロジェクトの生産者が、同校3年2組の児童たちにプロジェクトの概要やササニシキの生産方法などを説明。その後の生産者と児童たちが一緒に給食を食べる時間では、生産者に「ひとめばれとササニシキの違いはなんですか」と質問する児童もおり、交流しながらササニシキを食べていました。

児童たちは「ササニシキを食べるのは初めて!」「いつも食べているお米とは少し違うけどおいしい!」とササニシキの味に舌鼓を打っていました。

昨年の「米・食味分析鑑定コンクール:国際大会」で特別優秀賞を受賞した白石産ササニシキが学校給食に登場。児童の満面の笑顔を見て、私も白石産ササニシキの「ちらしごはん」給食を食べたくなりました。先日、寿司職人の方から「お寿司の銀シャリは、ササニシキが最高。江戸前寿司こだわりの店ではササニシキしか使わない」と話を伺いました。今年は、プロジェクトのメンバーが2人増え、作付面積も昨年の2倍になるようです。白石産ササニシキを食べて笑顔になる人も2倍になるよう、私自身がトップセールスマンとして全国にPRしていきます。



山田市長をイメージしたキャラクター「やまゆうくん」

Monthly Consultation

定例相談

相談種別	日時	会場	電話
人権擁護	4月17日(月)	10:00~15:00	市役所4階 第4会議室 生活環境課 ☎22-1314
行政		10:00~15:00	
無料法律	4月10日(月)	10:00~12:00	農林振興センター 農業委員会 ☎22-1256
農家		13:30~16:30	
こころの相談	4月5日(水)	健康センター(要予約)	健康推進課 ☎22-1362
障害者	4月12日(水)・26日(水)	13:00~15:00	市役所3階 第3会議室 福祉課 ☎22-1400
補聴器巡回サービス	・リオン: 4月11日(火)・26日(水) ・ブルーム(旧ワイデックス): 4月25日(火)	13:00~14:00	市役所1階 東側和室 リオン ☎0224-52-2551 ブルーム ☎022-267-3435

※平成29年5月のこころの相談は39ページに掲載しています。

相談種別	日時・会場・問い合わせ先など
いじめ相談(アライン)	いじめ問題等対策室(市役所4階 教育委員会内) i-line@city.shiroishi.miyagi.jp【24時間メール受け付け】 ※電話相談(☎22-1350)も実施しています(毎週月~金 8:30~16:30)。
家庭児童相談	総合福祉センター 毎週月~金 8:30~16:00 ☎22-1400
高齢者総合相談(事前連絡必要)	①地域包括支援センター(総合福祉センター内): ☎22-1466 ②在宅介護支援センター茶園: ☎25-9955 ③在宅介護支援センター八宮: ☎24-5222 毎週月~金 8:30~17:15
青少年相談	青少年相談センター(市役所4階) 毎週月・火・木・金 8:30~16:30 ☎22-1342(内線445)
消費生活相談	消費生活相談室(市役所1階生活環境課内) 毎週月・水・金 9:00~16:00 ☎22-0783
DV・セクハラ相談(事前連絡必要)	男女共同参画相談支援センター(ふれあいプラザ内) 毎週月・水・木・金 8:30~16:30 ☎22-6035 4月から相談日・時間が変更になりました。 ※電話相談も実施しています。
障がい者虐待通報	仙南地域障がい者基幹相談支援センター【24時間電話受け付け】 平日: ☎0224-51-5361 夜間・休日: ☎080-3326-1788 ※県南生活サポートセンターアサンテ内(大河原町)。平日は福祉課(☎22-1400)でも受け付けています。